森ゼミ
morisemi

AI活用による地域課題解決講座

2025.10.29



本日の流れ (アジェンダ)

AIをパートナーにするためのステップを学びます

1 はじめに：研修のゴールと2人のAIパートナー

2 NotebookLMによる「事実」の発見 (分析)

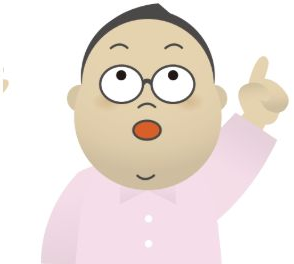
3 Geminiとの「アイデア会議」 (戦略)

4 まとめと次のステップ

© morisemi

00

第0章: はじめに



© morisemi

研修のゴール 🎯

AIを「分析と戦略立案のパートナー」として使いこなす

AIを「分析と戦略立案のパートナー」として使いこなす

地域のリアルな課題、つまり**「理想と現実のギャップ」**を発見する

発見した課題に対して、**「具体的な解決策（アクションプラン）」**を立てられるようになる

© morisemi

今日使う「2人のAIパートナー」🤖

得意なことが違う2つのAIを使い分けます

1. NotebookLM (ノートブックLM)

役割: まじめな「分析アシスタント」

得意なこと: たくさんの資料を正確に読み、内容を整理・比較すること

仕事: 資料に書かれている「**事実**」だけを客観的に見つける

2. Gemini (ジェミニ)

役割: アイデア豊富な「戦略プランナー」

得意なこと: アイデアを出したり、文章を考えたりすること

仕事: 「事実」をもとに「**なぜ？**」や「**どうする？**」を一緒に考える

© morisemi

なぜこの2つを使い分けるの？🤔

「分析（事実）」と「戦略（アイデア）」の両方が必要だからです

課題解決には「分析(事実)」と「戦略(アイデア)」の両方が必要です

もし、**事実（分析）**に基づかない**アイデア（戦略）**ばかりだと、それはただの「**思いつき**」になってしまいます

質の高い課題解決のために、今日は2つのステップを踏みます

© morisemi

課題解決の4ステップ 👣

森ゼミ
morisemi

NotebookLMで「事実」を見つけ、Geminiで「アイデア」を練る

STEP 1	【準備】 2種類の資料をAIに読ませる (NotebookLM)
STEP 2	【分析】 資料に書かれた「事実の違い」を発見する (NotebookLM)
STEP 3	【深掘り】 「なぜその違いが起きたか？」本当の理由を考える (Gemini)
STEP 4	【企画】 「どうすれば解決できるか？」具体的なアイデアを出す (Gemini)

© morisemi

01

第1章: NotebookLMによる「事実」の発見



© morisemi

演習1: 準備（1）

【最重要】スプレッドシートを「Googleドキュメント」に変換する

1. スプレッドシートを開く

Googleドライブでヒアリング結果のスプレッドシートを開きます

2. すべてコピーする

Ctrl + A (全選択) を押し、右クリックで「コピー」します

3. ドキュメントに貼り付け

「+新規」からGoogleドキュメントを作成し、「貼り付け」ます

4. 名前を付ける

「資料1_ヒアリング結果」など分かりやすい名前に変更します

© morisemi

演習1: 準備（2） 📚

NotebookLMに2つの資料を読み込ませる

1. ブラウザで `notebooklm.google.com` を開く
2. 「+新規ノートブック」をクリック
3. 【資料1】「Googleドライブ」から、先ほど作った「ヒアリング結果(ドキュメント版)」を追加する
4. 【資料2】「+ソースを追加」→「ウェブページ」を選び、分析したい「公式Webサイト」のURLを貼り付ける
5. ノートブックの名前を「○○商店街 課題分析」などに変更する

© morisemi

演習2: AIによるギャップ分析 🔍

プロンプト（指示文）を入力し、2つの資料の違いを分析させる

【プロンプト1: ギャップ分析】

あなたは優秀なマーケティング・アナリストです。読み込ませた2つのソース(資料1: ヒアリング結果、資料2: 公式Webサイト)を徹底的に比較し、両者の間に存在する、『**衝撃的なギャップ**』や『**認識のズレ**』を5つ、具体的に指摘してください。

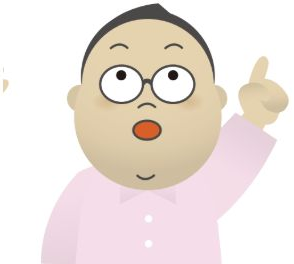
【プロンプトのヒント】

「あなたは…アナリストです」と**役割を与える**ことで、AIの回答の精度が上がります。また、「ギャップを5つ」のように、**何をしてほしいか**を具体的に指示することが重要です。

© morisemi

02

第2章: Geminiとの「アイデア会議」



© morisemi

演習3: 本当の理由(根本原因)の抽出

NotebookLMの分析結果を、Geminiに渡して深掘りさせる

1. NotebookLMの分析結果（ギャップ）をコピーする
2. Gemini（`gemini.google.com`）を開く
3. 「プロンプト2」を貼り付ける
4. プロンプト内の[ ]の部分に、NotebookLMの分析結果を貼り付ける

© morisemi

演習3: プロンプト2（インサイト抽出）

「事実」をAIに渡し、その背景にある「本当の理由」を考察させる

【プロンプト2: インサイト抽出】(要約)

あなたは地方創生の戦略コンサルタントです。以下の『AIによる一次分析レポート』に基づき、このギャップが生まれている**根本的な原因（本当の理由）**は何だと推測されますか？

【プロンプトのヒント】

今度はAIに「戦略コンサルタント」という役割を与えます。 最も重要なのは、NotebookLMの分析(事実)を「一次分析レポート」としてGeminiに渡すことです。これにより、**事実に裏付けられたアイデア**を引き出すことができます。

© morisemi

演習4: 解決アイデアの具体化 💡

「根本原因」に基づき、具体的なアクションプランを提案させる

【プロンプト3: アクションプラン創出】(要約)

素晴らしい分析です。そのインサイト(根本原因)に基づき、「**今すぐ実行可能**で、**コストがあまりかからない**」具体的なアクションプランを3つ提案してください。形式(プラン名、目的、内容、検証方法)も指定します。

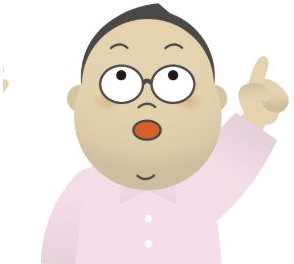
【プロンプトのヒント】

「素晴らしい分析です」と直前の回答を褒めることで、**会話の流れ（文脈）**をAIに強く認識させることができます。
また、「今すぐ実行可能」「低コスト」といった**制約条件**を先に伝えることで、夢物語ではない、**現実的なアイデア**を引き出せます。

© morisemi

03

第3章: まとめ



© morisemi

本日のまとめ 振り返り

「事実分析」と「戦略立案」のパートナーシップ

NotebookLM (事実分析)	Gemini (戦略立案)
役割: 分析アシスタント	役割: 戦略プランナー
仕事: 複数の資料（生の声 + 公式情報）を比較	仕事: ギャップの「なぜ？」を深掘り
成果: **客観的なギャップ（事実）**の発見	成果: 具体的な「**次のアクション（アイデア）**」の創出

© morisemi

AI活用の本質 🌟

AIは「答えを出す機械」ではなく、「分析と戦略立案のパートナー(壁打ち相手)」です。
AIの分析(事実)をヒントに人間が考え、AIにアイデア出し(戦略)を手伝ってもらう。
このパートナーシップが鍵となります。

— 本研修のまとめ

© morisemi

次のステップへ 🚀

今日学んだ「考え方」を、色々な場面で応用してみよう！

今日学んだ「**事実分析 → 戦略**」という考え方

AIへの**指示（プロンプト）の出し方**

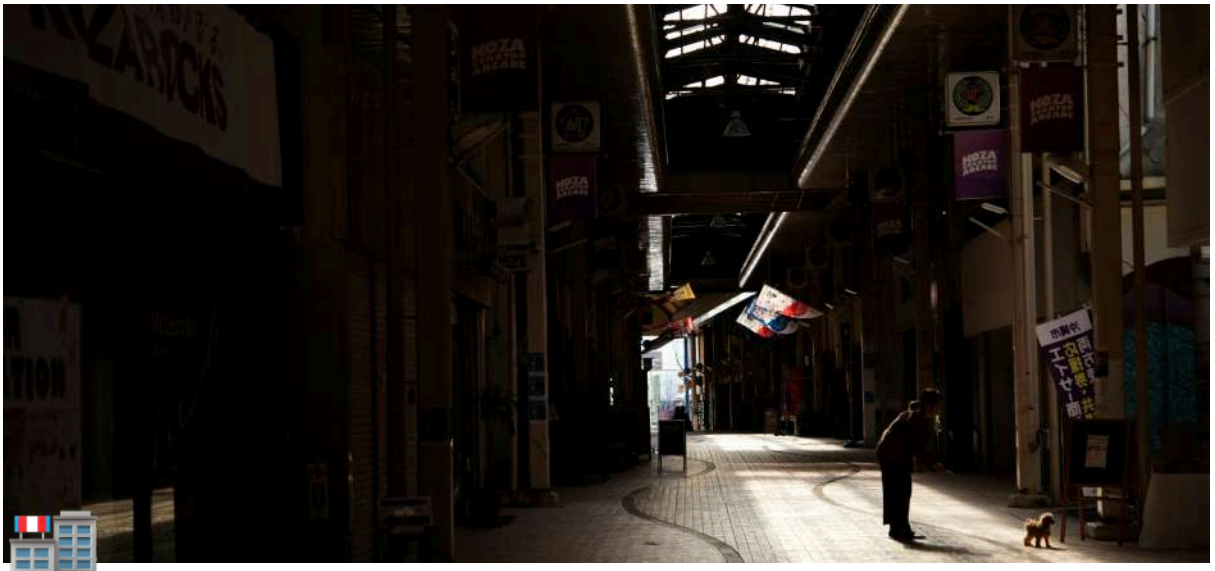
これらは、地域の課題解決だけでなく、以下のような身近な場面でも応用できます。

- 学校のレポート作成
- アルバイト先の業務改善
- サークル活動の企画

ぜひ、自分のテーマでもAIパートナーと一緒に「**小さな一歩**」を踏み出してみてください！

© morisemi


森ゼミ
morisemi



AI活用による地域課題解決講座

https://docs.google.com/document/d/1xnSWXKYvYDDm6UxBE34iAlyCI5LSrVXzFICCawIAXMI/edit?tab=t.0

AI活用による地域課題解決講座 参考書（分 析・戦略編）

第0章：はじめに ～AIと一緒に「地域の未来」を考えよう～

みなさん、こんにちは！ この研修では、AIを「地域の課題を見つけて、解決策を考えるパートナー」として使いこなす方法を学びます。

> 💡 **研修のゴール**
>
> AIを「分析と戦略立案のパートナー」として使いこなし
> 地域のリアルな課題（＝ギャップ）を発見し、 具体的な解決策（＝アクションプラン）を立案できる。

💬 **この研修でもうひとつ大事にしたいこと**

- **地元キャリアの視点**
  今日のテーマは「地域課題の分析と戦略」ですが、同時に
  「自分がこの地域とどう関われるか？」
  を考えるきっかけにもしてほしいと思っています。
  ここで身につく考え方やスキルは、将来、
  - 地元の仕事に就く
  - 一度外に出てから、また戻ってくる
  - 別の場所に住みながら、地元と関わり続ける
    といった **いろいろな“地元との付き合い方”** に生かせます。
- **非認知スキルの視点**
  また、今日は「知識」だけでなく、
  - チームで話し合う力
  - わからないことを質問する勇気
  - 失敗してもやり直す粘り強さ
    などの **“非認知スキル”** を意識しながら進めます。
    毎回の演習の終わりに、
    「今日ちょっと育ったと思う力」を1つだけ書き残してみてください。

今日使う「2つのAIパートナー」

今日は、性格の違う2つのAIツール（AIパートナー）を使います。初めて使う人も多いと思うので、まず紹介から。

1. NotebookLM（ノートブックLM）



✅ **得意なこと**
たくさんの資料を正確に読み、内容を整理・比較すること。
役割: まじめな「分析アシスタント」。資料に書かれている「事実」だけを客観的に見つけてくれます。

2. Gemini（ジェミニ）



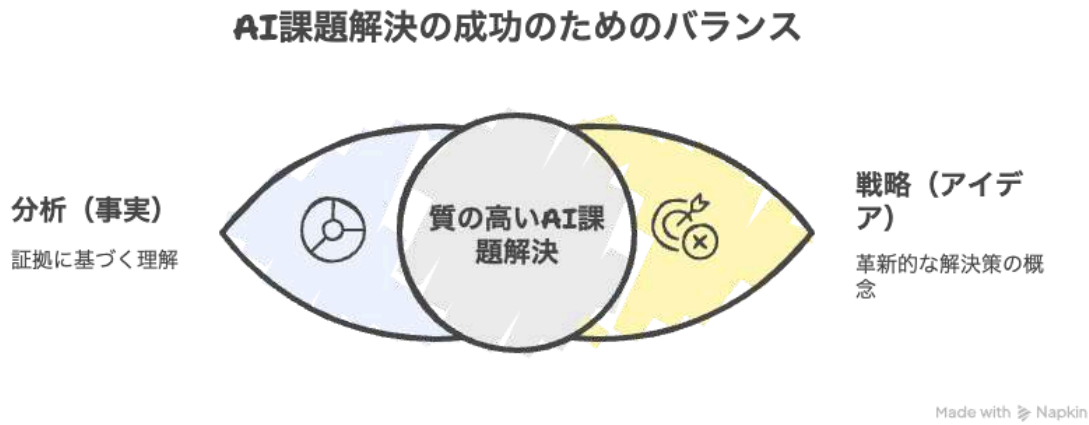
✅ **得意なこと**
アイデアを出したり、文章を考えたりすること。
役割: アイデア豊富な「戦略プランナー」。NotebookLMが見つけた「事実」をもとに、「なぜだろう？」を一緒に考えたり、「どうしたらいい？」という解決策のアイデアを出してくれたりし ます。

なぜこの2つを使い分けるの？

課題解決は「分析（事実）」と「戦略（アイデア）」の両方が必要です。

もし、事実（分析）に基づかないアイデア（戦略）ばかりだと、それはただの「思いつき」になってしまい ます。

そこで、今日はこの2つのステップを踏んで、AIと「質の高い」課題解決に挑戦します。



💡
- **STEP 1:** 【準備】 2種類の資料をAIに読ませる (NotebookLM)
- **STEP 2:** 【分析】 資料に書かれた「事実の違い」を発見する (NotebookLM)
- **STEP 3:** 【深掘り】 「なぜその違いが起きたのか？」本当の理由を考える (Gemini)
- **STEP 4:** 【企画】 「どうすれば解決できるか？」具体的なアイデアを出す (Gemini)

第1章：NotebookLMによる「事実」の発見

まずNotebookLMを使います。2つの資料（現場の声と公式情報）を読み込ませて、両方を比べます。そして、「どこが違うのか（ズレ）」を見つけてもらいましょう。この章では、「準備」（演習**1**）と「分析」（演習**2**）の2つを行います。

【ハンズオン】 演習1：2種類の資料を準備し、読み込ませる

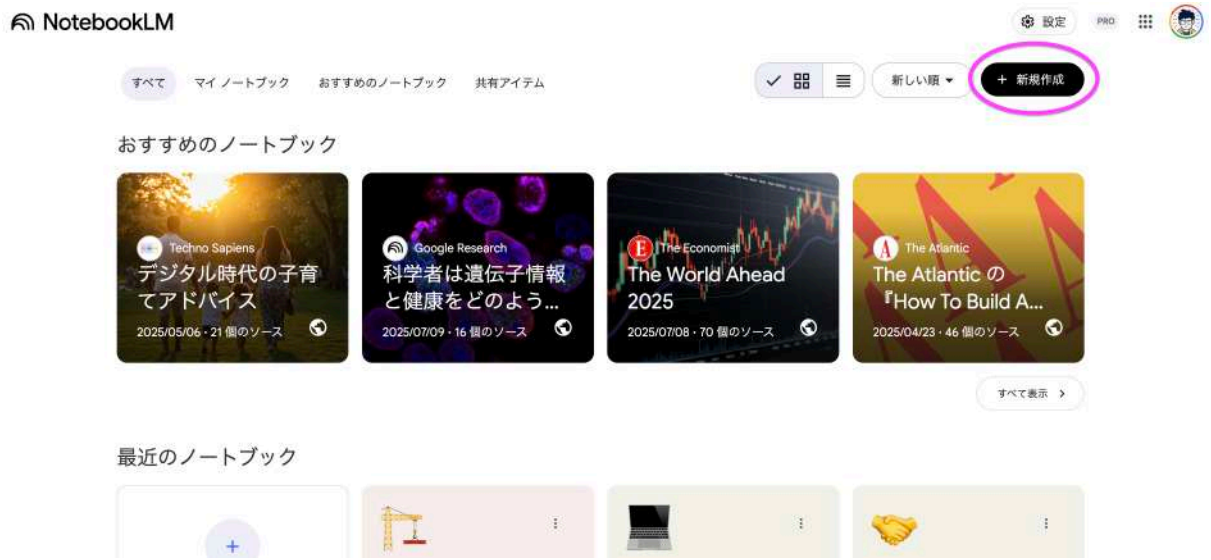
💬 **「問いを立てる力」**
ただ資料を読み込むだけでなく、
「この資料から、何がわかったら嬉しいか？」という
自分なりの問いを1つ決めてから作業を始めてみましょう。

AIが分析するための「作業場（NotebookLM）」を準備し、2種類の資料（ソース）を読み込ませます。ここから、PCの具体的な操作が始まります。わからなくなったら、すぐに手を挙げてください。

ブラウザでNotebookLMを開く

- Webブラウザの**「新しいタブ」**（ブラウザ上部の + ボタン）を開きます。
- 画面の一番上にあるアドレスバー（httpsから始まるURLや、検索キーワードを入力する横 長の白い欄）に、キーボードで notebooklm.google.com と入力し、Enterキーを押します。

新規ノートブックの作成



- NotebookLMのホーム画面（最初の画面）が表示されます。画面にある、**「+ 新規 ノートブック」**というボタンを探して、マウスでクリックしましょう。
- クリックするとすぐに**「ソースを追加」というポップアップ画面（小さなウィンドウ）が画面の 中央に表示されます**。

2つのソース（資料）を追加する

【資料1：Googleスプレッドシートの追加】

■ 「ソースを追加」の画面で、「Googleドライブ」をクリックします。



■ 自分のGoogleドライブの中身が表示されるので、NotebookLMに読み込ませたいファイルを探し、クリックして選択します。（画像では「資料1_ヒアリングシート」というファイルを選択しています）



【資料2：分析したい「公式Webサイト」（URL）の追加】

■ 続けて、「+ ソースを追加」（画面左側、または中央）をクリックします。

■ 再び「ソースを追加」のポップアップが表示されます。

■ 今度は**「ウェブサイト」**をクリックします。

■ **「URLを貼り付け」**という入力欄が表示されます。

■ （ここで一度、ブラウザの別のタブを開きます）

■ みなさんの班が分析対象として決めた「公式**Web**サイト」（例：〇〇商店街のホーム ページなど）を開き、画面上部のアドレスバー（https://... から始まる文字列）をすべて 選択してコピー（右クリック→「コピー」）します。

■ （**NotebookLM**のタブに戻ります）

■ 「URLから貼り付け」の入力欄に、さきほどコピーしたURLを貼り付け（右クリック→「貼 り付け」）ます。



■ 「ソースを追加」ボタン（または「挿入」ボタン）をクリックします。

【もし公式Webサイトが存在しなかったら？（代替案）】
みなさんが分析対象とした場所（商店 街など）の公式なWebサイトが見つからない場合も、もちろんあります。その場合は、比較 対象としてふさわしい、別の「公式な情報」を探しましょう。
〇 例**1**： その地域の「観光協会の紹介ページ」
〇 例2： その地域について紹介している「新聞記事」や「自治体（市役所など）の広報ページ」

大切なのは、「住民の生の声（資料1)」と**比較できる「公的な、外向けに発信されている 情報」**をAIに読み込ませることです。見つけたWebページのURLを、同じように「ウェブ ページ」から追加してください。

ノートブックの名前を変更する

2つのファイルが追加されると、ポップアップが消え、画面左上に自動で仮のタイトルが表示されます。

その自動でついた名前の文字列の上を、マウスでクリックします。

名前を打ち替えられるようにカーソル（チカチカする縦棒）が表示されたら、キーボードで「〇〇商店街 課題分析」（〇〇は自分たちの分析対象名）と入力し、Enterキーを押して

名前を確定します。

これで、AI（NotebookLM）が2つの資料を読み込み、分析の準備が整いました。



【ハンズオン】 演習2：AIによるギャップ分析

次に、画面下部のチャット欄を使って、AIに「分析」を指示します。

チャット欄にプロンプト（指示文）を入力する

- 画面の一番下にある、「入力を開始します...」と薄く表示されている横長の白い入力欄をク リックします。カーソル（チカチカする縦棒）が表示されたらOKです。
- 以下の**【プロンプト1】**の太字部分（> の内側）を、キーボードで入力するか、コピー& ペーストします。

> 💡 【ヒント：コピー＆ペースト（写す＆貼り付ける）とは？】
> この資料にある指示文（プロンプト） を、マウス操作で「コピー（複製）」し、AIの入力欄に「ペースト（貼り付け）」する操作です。 キーボード入力に自信がなくても大丈夫です。

▼ コピー（写す）の方法

- この下の【プロンプト1】の太字の文章の「あたま（あなたは優秀な...）」から「おわり（...指 摘してください。）」まで、マウスの左ボタンを押したまま、なぞります。
- 選んだ部分が青色や灰色に変わったら、マウスのボタンを離します。
- その青い部分の上でマウスを右クリックし、出てきたメニューから**「コピー」**を選び ます。
- （ショートカットキー：Ctrlキーを押しながら Cキー）

▼ O ペースト（貼り付ける）の方法

- さきほどクリックしたNotebookLMの入力欄（「入力を開始します...」と書いてあった場 所）の中で、マウスを右クリックします。
- 出てきたメニューから**「貼り付け」**を選びます。

- （ショートカットキー：Ctrlキーを押しながら Vキー）

【プロンプト1：ギャップ分析】

あなたは優秀なマーケティング・アナリストです。 今、読み込ませた2つのソース（資料1：ヒアリング結果、資料2：公式Webサイト）を徹底的に 比較してください。

特に、「住民が実際に感じていること（資料1)」と「商店街が公式に発信している情報（資料2)」との間に存在する、『衝撃的なギャップ』や『認識のズレ』を5つ、具体的に指摘してくださ い。

【プロンプトのヒント】 なぜこの指示（プロンプト）を出すのか？
「あなたは優秀なマーケティング・アナリストです」
→ *AIに「役割」を与える（ロールプレイング）テクニックです。AIに「その道のプロ」になりきっ てもらうことで、精度の高い回答が期待できます。*
「『衝撃的なギャップ』や『認識のズレ』を5つ」
→ *AIに「何をしてほしいか」（タスク）と「どれくらいほしいか」（量）を具体的に指示していま す。あいまいな指示よりも、的確な答えが返ってきやすくなります。*

AIの分析結果を確認する

- プロンプトが入力欄に貼り付けられたら、入力欄の右端にある、紙飛行機のような送信 マーク（▶のようにも見えます）をクリックします。
- AIが2つの資料を比較し、分析結果（例：「Webサイトでは『歴史と伝統』を強調していますが、住民は『新しくてSNS映えする店』を求めているようです」など）を回答します。 これが、私たちが発見した「客観的な課題（事実)」となります。



- 出力結果はメモに保存する習慣をつけておこう！
- コピーして、ドキュメント化しておくとなお良いです

❓ **キャリア視点の問い**
見つかったギャップを1つ選び、
「このギャップが続くと、一番困るのはどんな立場の人か？」
を班で話し合ってみましょう。
例：

- お店で働く若いスタッフ
- 新規でお店を出したい人
- 学生のアルバイト
- 企画を任された商店街の担当者 など

📝 **今日の自分チェック**

- 事実と自分の思い込みを分けて考えられたか？
- 班の中で、誰かの意見にしっかり耳を傾けられたか？
  どちらか一つでも「できた」と思えたら、そのことを1行メモしておきましょう。

第2章：Geminiとの「アイデア会議」

💭**1分ミニワーク**
NotebookLMが見つけたギャップを1つ選び、
「もし自分が、この商店街で働いている若手スタッフだったら？」
「もし自分が、この地域に戻ってきたいと思っているUターン希望者だったら？」
など、
“自分の将来の姿”を一つ決めて、その立場からこのギャップを見てみましょう。
その立場だったら、何が一番モヤモヤしそうですか？

NotebookLMが見つけた「事実（ギャップ）」は、あくまで「違いがある」という分析結果です。 今度は「戦略プランナー」のGeminiにバトンタッチし、

「なぜ（Why）」その違いが生まれたのかを深掘 りし、

具体的な「どうする？（How）」の解決アイデアを一緒に考えてもらいます。

【ハンズオン】 演習3：本当の理由（根本原因）の抽出

💡 NotebookLMの分析結果（事実）を使って、Geminiに「なぜそのギャップが起きたのか？」、その「本当の理由（根本原因）」を考察させます。

1. NotebookLMの分析結果をコピーする

- 演習2でNotebookLMが回答した「ギャップ分析の結果」の**すぐ下（または右下）**に、コ ピーアイコン（四角が二つ重なったようなマーク ）があります。



- そのコピーアイコンをマウスでカチッとクリックします。
- これだけで、AIの回答テキストのすべてが自動でコピー（記憶）されます。（マウスでなぞる 必要はありません）

2. Geminiを開き、プロンプトを貼り付ける

- ブラウザの**「新しいタブ」**を開きます。ブラウザの一番上にあるタブ（今開いている「〇 〇商店街 課題分析」と書かれたタブ）の、すぐ右側にある + ボタンをクリックします。
- 真っ白な新しいページ（またはGoogleの検索画面）が開きます。
- 画面上部のアドレスバーに、キーボードで gemini.google.com と入力し、Enterキーを押し ます。
- Geminiの画面が開いたら、画面下部にある「**Gemini**に相談」と書かれた入力欄をクリック します。
- 以下の【プロンプト2】の全文を、さきほどと同じ方法でコピーします。

【プロンプト2：インサイト抽出】

あなたは地方創生を専門とする戦略コンサルタントです。

ある商店街の「ヒアリング結果」と「公式Webサイト」をAIで比較分析したところ、
以下の『衝撃的なギャップ』が判明しました。

AIによる一次分析レポート:

[↑ここに、先ほどNotebookLMの分析結果を貼り付ける]

あなたのタスク:

この一次分析レポートに基づき、以下の点を考察してください。

〇 インサイト（核心的な気づき）**:** この「ギャップ」が生まれている根本的な原因 （＝本当の理由）は何だと推測されますか？（例: ターゲット層がズレている、 情報発信の方法が合っていない、など）

O 仮説の精錬**:** 私たちの当初の仮説（[※ここに自分たちの班の仮説を記述]） は、この結果を受けてどのように修正・精錬すべきですか？

O コピーしたら、Geminiの入力欄の中で右クリックし、**「貼り付け」**を選びます。 O 【超・重要！】 貼り付けたプロンプトの中にある [↑ここに、先ほどNotebookLMの分析結果 を貼り付ける] という文字列（カギカッコごと）を、キーボードの **Delete**キー や **Backspace**

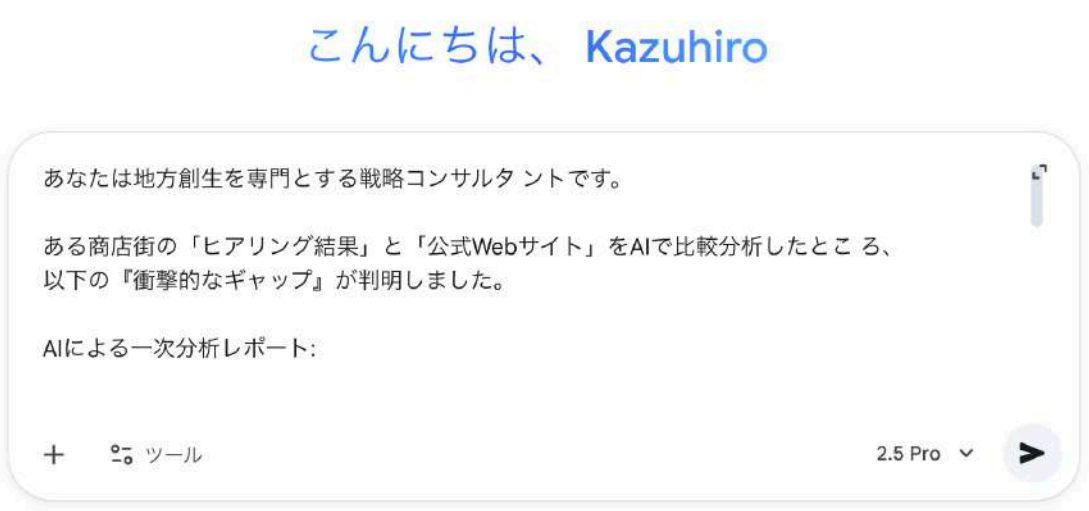
キーで一度きれいに消してください。

O 文字列を消してカーソル（チカチカする縦棒）だけになったら、その場所で、さきほど NotebookLMからコピーしてきた「ギャップ分析の結果」をもう一度貼り付け（右クリック → 「貼り付け」）ます。

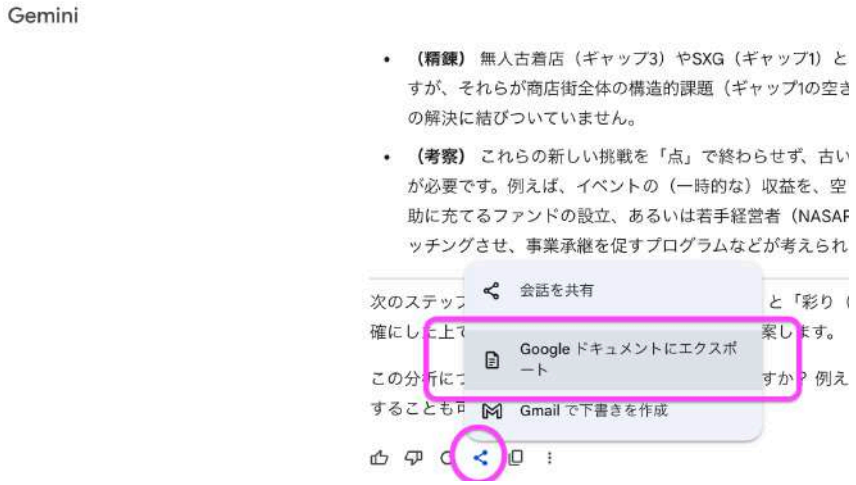
【プロンプトのヒント】 なぜこの指示を出すのか？

💡 「あなたは…戦略コンサルタントです」
→ *再びロールプレイングです。今度は「分析屋」ではなく、次の手を考える「戦略家」になってもらいます。*
#「AIによる一次分析レポート: [貼り付け]」
→ *これが最重要ポイントです。NotebookLMの分析（事実）をGeminiに渡すことで、事実に基づいたアイデア（＝根拠のあるアイデア）を出してもらうためです。これがないと、AIがウソや思いつきの回答をしやすくなります。*

AIの考察（インサイト）を議論する



プロンプトを送信し（紙飛行機マークを押す）、AIが提示した「根本原因」や「仮説の修正案」 について、班でディスカッションします。（例：「確かに、Webサイトは見てないかも」「高校生 はInstagramのほうが響くのでは？」など）



💡 **Geminiの出力はドキュメントにエクスポートできます。**
出力内容をドキュメント化する癖をつけておくと、後々の整理に役に立ちますよ。

「相手の立場で考える力（共感）」
根本原因を考えるときは、
「数字上の原因」だけでなく、
「実際にそこにいる人は、どんな気持ちか？」も想像してみましょう。

【ハンズオン】 演習4：解決アイデアの具体化

本当の理由（原因）がわかってきたら、AIに「壁打ち相手」になってもらい、具体的な対策を考えてさ せます。

1. （Geminiのチャットを続けたまま）プロンプトを入力する

- 演習3のチャット画面（スレッド）をそのまま利用します。（※ブラウザのタブを閉じたり、 **Gemini**のページを再読み込み（リロード）したりしないでください。会話の続きがわからなく なってしまいます）
- さっきと同じ入力欄（Geminiの画面下部）に、以下の**【プロンプト3】をコピー＆ペースト** します。

【プロンプト3：アクションプラン創出】命令書

素晴らしい分析です。そのインサイト（根本原因）に基づき、
私たちの班の課題 （例：「若い世代の寄り道」「商店街の回遊性」など）を解決するための、
「今すぐ 実行可能で、コストがあまりかからない」具体的なアクションプラン（解決アイデ ア）を3つ提案してください。

各プランについて、以下の形式で記述してください。

- プラン名**:** (キャッチーな名前)
- 目的**:** (誰の、どんな課題を解決するか)

- 具体的な内容**:** (何を、どこで、どうやるか)
- 検証方法**:** (そのプランが成功したか、どう測るか)

💡 **【プロンプトのヒント①】**
なぜ「素晴らしい分析です」とAIに言うのか？
AIは「褒められて」喜んで いるわけではありません。直前のAIの回答（分析）を「そのインサイトに基づき」と明確に引用す ることで、「今から行うのは、さっきの分析の続きですよ」という**文脈（会話の流れ）**をAIに強く認識させる効果があります。これは、AIが学習した「質の高い共同作業」のテキストパターン （良い分析→次の行動）を引き出すための、実践的なテクニックです。
【プロンプトのヒント②】
なぜ「今すぐ実行可能で、コストがあまりかからない」と書くのか？
AIは放っておくと、お金や時間がかかる壮大なプラン（例：「商店街をすべて建て替える」）を提案しがちです。「予算が少ない」 「すぐにやりたい」といった**「制約条件」**を先回りして伝えることで、夢物語ではない、現実的 で役立つアイデアを引き出すことができます。

2. AIの提案を検討し、もっと良くする

- AIが提案した3つのプランを班で検討・評価します。
- 最も良いと思ったプランを1つ選び、Geminiに「そのプランを、商店街の組合に提案するた めの企画書の構成案（A4・1枚）を作ってください」と追加で（同じチャット欄に）入力して依頼 してみましょう。
- 企画書の**「たたき台」（最初の原案）**をAIに作ってもらうことで、ゼロから考える手間を大 幅に減らすことができます。

汎用的な分析プロンプト

目的：◯◯（例：「学力向上」「売上改善」「顧客満足度向上」など）を達成するための施策を考えたい。

以下の手順に沿って、データ分析を行い、初心者にも分かりやすく丁寧に解説してください。

手順

1. **目的に適した分析手法を選定**
   - 与えられた目的をもとに、最も適切な分析アプローチ（例：回帰分析、クロス集計、クラスター分析など）を選び、その理由を説明してください。

2. **選定した手法による分析プロセスを詳細に説明**
   - 計算や統計処理を行う場合は、数式をLaTeX形式で明示してください。
   - 手作業またはAIツールを使った場合も、その具体的手順を示してください。

3. **専門用語を使わずに平易に解説**
   - 一般読者にも理解できるよう、例えや比喩を交えながら分析の意味を説明してください。

4. **分析結果の考察と今後の施策提案**
   - 結果から読み取れる示唆を論理的に説明し、どのような改善策・施策につながるかを具体的に提案してください。
   - グラフや表を使う場合は、それらの読み取り方も解説してください。

5. **追加で必要なデータや観点を提示**
   - より精密な分析や今後の検証のために、どのようなデータ・指標・質問が追加で必要かを示してください。
   - 可能であれば、その取得方法の例も挙げてください。

出力形式（例）

分析目的
〜〜〜

分析手法と理由
〜〜〜

分析プロセス（数式・手順）
〜〜〜

結果と解釈
〜〜〜

今後の提案
〜〜〜

追加で必要なデータ・観点
〜〜〜

本日のまとめ

まとめ
● **NotebookLM**（事実分析）：複数の資料（生の声＋公式情報）を比較させ、「客観的なギャップ （事実）」を発見しました。
● **Gemini**（戦略立案）：そのギャップの「なぜ？」を深掘りし、具体的な「次のアクション（アイデ ア）」を一緒に考えました。

> 💡 **AI活用の本質**
>
> AIは「答えを出す機械」ではなく、「分析と戦略立案のパートナー（壁打ち相手）」です。AIにすべて任 せるのではなく、AIの分析（事実）をヒントに人間が考え、AIにアイデア出し（戦略）を手伝ってもらう。 このパートナーシップを使いこなすことが、AI時代における地域課題解決の鍵となります。

次のステップ

- 今日学んだ「事実分析 → 戦略」という考え方や、AIへの指示（プロンプト）の出し方は、以下のような場面で応用できます
  - 学校のレポート作成
  - アルバイト先の業務改善
  - サークル活動の企画

ぜひ、自分のテーマでもAIパートナーと一緒に「小さな一歩」を踏み出してみてください！

令和７年１１月１９日（水）

教育プログラムアンケート

名前：

文部科学省受託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の一環として、地方における専門学生たちの地元でのキャリア形成や就職後の活躍に向けた教育プログラムを開発しています。この教育プログラムをよりよいものにしていくため、アンケートにご協力ください。なお、皆さんの学習活動や成績評価などで不利になるようなことはありません。

以下に関して、該当する番号に〇をつけてください。

A. 自分の将来の進路について

①私は将来、地元（香川県）で働くことに興味がある。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

②地元の企業には自分の希望する仕事やキャリアの道があると感じる。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

③自分の進路を考える上で、地元の企業や産業についてもっと知りたい。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

④地元の企業でキャリアを積むことに価値を感じる。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

⑤あなたが「地元」や「地元以外」で働くことに感じるメリットや魅力はなんですか？

＜地元で働くこと＞

［　　］

＜地元以外で働くこと＞

［　　］

裏面に続く

B. 自分の性格や姿勢について

⑥他者の話を最後まで丁寧に聴き、自分の考えを分かりやすく伝えられる。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

⑦やったことのないことにも自らやってみようと思える。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

⑧失敗やわからないことがあっても、まずは工夫して自分でやってみようと思える。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

⑨聞いた情報や調べた情報をそのまま使うのではなく、自分でかみ砕いて判断できる。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

⑩チームメンバーと協力して作業を進められる。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

⑪物事がうまくいかなかったとき、どうすれば解決できるか振り返ることができる。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

⑫自分の得意なことや苦手なことを理解している。

5	4	3	2	1
そう思う	まあまあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない

⑬「社会に出てから役立つと思う、自分の強みや伸ばしたい力」を教えてください。

[　　]

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

授業終了後アンケート（受講者用）

本日の実習は、文部科学省受託事業「香川県地域キャリア形成のための双方向型教育モデル開発事業」で開発した教育プログラムの一部です。この教育プログラムをよりよいものにしていくため、アンケートにご協力ください。

以下の質問に該当する番号に〇をつけてください。

質問１　本日の授業の内容は理解しやすかった。

とても思う				全く思わない
5	4	3	2	1

質問２　本日の授業内のワークは、理解を深めるのに役立った。

とても思う				全く思わない
5	4	3	2	1

質問３　本日の授業の内容は、スキルとして今後の学習や課題に役に立つ。

とても思う				全く思わない
5	4	3	2	1

質問４　教師の説明はわかりやすかった。

とても思う				全く思わない
5	4	3	2	1

質問５　資料や教材はわかりやすかった。

とても思う				全く思わない
5	4	3	2	1

質問６　本日の授業全体に満足している。

とても思う				全く思わない
5	4	3	2	1

質問７　本日の授業で『特に印象に残ったこと』や『ご感想』をご記入ください。

_____

_____

質問８　改善してほしい点や要望があれば教えてください。

_____

_____

ご協力ありがとうございました。